

浸水対策

～ 官民それぞれの浸水対策 ～

浸水対策班

秋田市上下水道局下水道整備課

佐藤 航汰

徳島市上下水道局下水道整備課

仁木 翔太

福岡市道路下水道局中部下水道課

高城 大地

1. 官地を有効活用した浸水対策

2. 自助の取り組みの促進による浸水対策

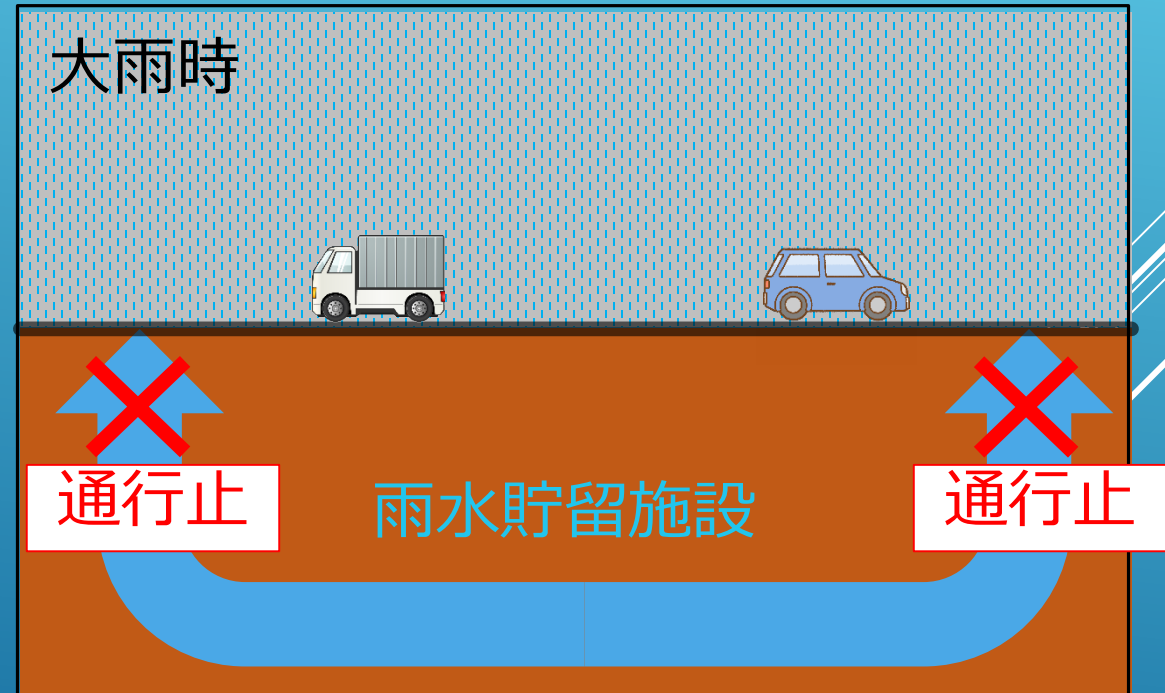
1. 官地を有効活用した浸水対策

2. 自助の取り組みの促進による浸水対策

1. 官地を有効活用した浸水対策

雨水貯留施設としての地下道路の建設

- 平時は地下道路として活用
- 大雨時は雨水貯留施設として利用



ねらい

大規模な雨水貯留機能 + 交通渋滞解消 ⇒ 高い経済効果

1. 官地を有効活用した浸水対策

整備イメージ

都市計画道路と一体的な整備（用地の確保・工事費の削減）

維持管理イメージ（参考：高速道路やアンダーパス）

○平時の運用

車両専用道路として運用

- ⇒遠方に短時間でアクセスしたい車両を地下道路
- 近隣にアクセスしたい車両は地上にすみ分け

○大雨時の運用

- ・通常の雨はポンプによる排水（アンダーパス）
 - ⇒大雨時はポンプ機能を停止し雨水貯留施設としての機能を果たす
- ・電子看板による通行止めのお知らせ（アンダーパス・高速道路）
- ・路面監視カメラ（アンダーパス・高速道路）

○料金収入

- ・高速道路のように料金収入を得る
- ・道路公社による維持管理も検討（高速道路）

1. 官地を有効活用した浸水対策

2. 自助の取り組みの促進による浸水対策

2. 自助の取り組みの促進による浸水対策

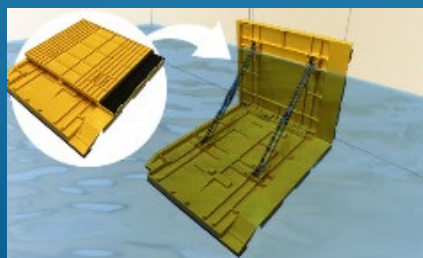
毎年のように発生する想定を超えた豪雨

公共による対策は想定の中での対策しかできない（10年確率降雨、5年確率降雨等）

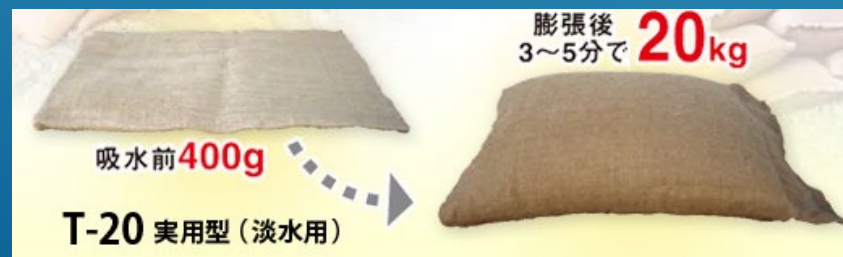
⇒住民・企業の「自助」による対策の推進

自助の事例

- 雨水の一時的な貯留（雨水貯留タンク等）
 - ・側溝や河川への流出を遅らせる効果
 - ・貯留水の有効活用による節水効果も
- 雨水の地下浸透（浸透ます・管、透水性舗装）
側溝や河川の負担緩和
- 建物への浸水の防止（土嚢、止水板）
近年はコンパクトな止水版や土のうも開発



(参考)F-SHIELD



(参考)エコクリーン吸水土のう



名古屋市「環境にやさしく雨に強いまちづくり雨水流出抑制のお願い」

2. 自助の取り組みの促進による浸水対策

現在の自助の促進制度

○自助対策に対する助成制度

設置費用の一部を補助（全国で多数事例あり）

○雨水流出抑制施設の義務化（特定都市河川浸水被害対策法に基づく）

例：名古屋市防災条例、川崎市雨水流出抑制施設技術指針等

→事業面積要件（1000㎡以上の雨水浸透阻害行為）や

浸水被害の実績がある地域等の要件あり

これからの自助の促進制度

○流出抑制施設の義務化の拡大＋助成制度

- ・面積要件の撤廃：個人の宅地でも新築・建替に併せて施設設置を義務付け
- ・エリア要件の撤廃：浸水実績箇所以外の雨水流出抑制の推進
- ・助成制度は継続するとともに、拡大も検討

○浸水対策の自助の必要性について十分に市民の理解を得る

浸水対策は公共だけがすべきものという意識

⇒ 自分や家族の命や財産は自分たちでも守っていく